

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和4年度 上半期(4月～9月) 年間(4月～3月) の管理運営状況)

施設名	あきる野市民プール	指定管理者	シンコースポーツ・アズビル 共同事業体
指定期間	令和4年4月1日から 令和9年3月31日まで	担当課	スポーツ推進課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類		年間計画（A）	実績（B） （モニタリング時）	対計画比率 （B/A×100）
業務の 遂行状況	開館日数（日）		336	286	85.1%
	延べ利用者数（人）		41,750	27,085	64.9%
	事業開催 回数	必須事業（回）	90	50	55.6%
		自主事業（回）	740	358	48.4%
収支状況	収入	指定管理料（円）	57,615,500	64,900,500	112.6%
		利用料金収入(売上)（円）	7,182,500	4,591,750	63.9%
		自主事業収入（円）	13,600,000	4,204,192	30.9%
		その他の収入（円）	0	0	－%
	収入計（円）…①		78,398,000	73,696,442	94.0%
	支出	人件費（円）	12,296,000	11,531,127	93.8%
		維持管理経費（円）	34,221,080	35,170,031	102.8%
		自主事業関係経費（円）	5,815,000	2,211,409	38.0%
		その他の支出（円）	21,730,920	23,908,455	110.0%
	支出計（円）…②		74,063,000	72,821,022	98.3%
	収支（①－②）（円）…③		4,335,000	875,420	20.2%
	諸経費（本社運営費など）…④		－	－	－%
	総収支（③－④）（円）		4,335,000	875,420	20.2%

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 《屋内プール》 ○開館日数 年間で286日間開館しました。設備故障のため10月5日から7日の3日間、11月12日から16日の5日間、2月15日から3月31日の45日間を臨時休館しました。 ○利用者数 個人利用者数22,478人、団体利用者数4,607人(自主事業参加者を除く)27,085人であり、年間の計画に対し64.9%の達成率となりました。 前年度対比は143.0%増となりました。	【事業の実施状況について】 ○必須事業 ワンポイントアドバイスは4月から、エンジョイ水中運動、障がい者水泳教室は9月から開始しました。 ○自主事業 4月から7月までは開催教室を絞り開催しました。9月からはアクアビクス系を含めた全教室を開催しました。 物品販売は、12月より焼き芋の販売を開始し利用者増加を図りました。 自動販売機については、通常どおりの販売を行いました。	【収支状況について】 ○収入 利用料金収入は年間計画に対し63.9%になり、自主事業収入は年間計画に対し30.9%となりました。 ○利用料金収入 利用料金収入前年度対比193.5%増となりました。 ○自主事業収入 自主事業収入前年度対比251.8%増となりました。 ○支出 年間計画に対して98.3%となりました。 休館のため人件費は計画よりも抑えることが出来ましたが、その他支出の水光熱が年間計画と比べ121.6%となりました。
---	--	---

所管課の評価（指摘事項）		
【開館日数・利用者数について】 前年同様、新型コロナウイルス感染予防対策を講じた中での開館となりましたが、利用者数は前年度と比較し増加しています。設備の故障により45日間休館となりましたが、再開の際には、利用者数の年間計画の水準まで回復できるよう努めてください。	【事業の実施状況について】 感染状況も落ち着き、事業の再開に取り組んでいます。物品販売では新たに焼き芋販売が追加されました。今後は、それぞれの教室において、参加者数を増やせるよう取り組んでください。	【収支状況について】 収入については、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少や設備の故障により、臨時休館となったため減少しています。支出については、燃料費の高騰により、維持管理費の一部に増加傾向が見られるため、今後も社会情勢を注視し対応するとともに、総収支が黒字になるよう努めてください。

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負っていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	7人 人員配置計画、実地、出勤簿	7人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年 研修マニュアル	実施回数 2回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	74.3% 人員配置計画	78.9% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環	実地、出勤簿、就業	適正・要改善	適正・要改善

	境への適切な配慮がなされている	規則等		
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
総利用者数は27,085人で、前年比143.0%、個人利用者数は22,478人、前年比140.0%、団体利用者数は4,607人、前年比159.0%となりました。 自主事業においては、教室事業を4月から数を絞り開催し、9月からはアクアビクス系を含めた全教室を再開し、並びに必須事業であるエンジョイ水中運動、障がい者水泳教室、ワンポイントレッスンを再開しています。11月からは教室名の変更や時間帯の変更も実施しました。 物販販売に関しては、上半期はゴーグル等を中心に販売し、下半期はパンや焼き芋などを販売しました。 また、設備故障により10月には3日間、11月には5日間、2月から3月にかけて45日間の臨時休館がありました。今後は、日々の点検を強化し設備故障を早期発見出来るよう努めてまいります。 収入状況においては、個人利用・団体利用の収入が計画に対して63.9%、自主事業収入は計画に対して30.9%となりました。コロナ禍での自主事業再開、臨時休業も重なり計画を大きく下回る結果となりました。 支出につきましては、年間計画の98.3%となり概ね計画通りとなりました。 また、水光熱費高騰による影響が多少出ていますが、必要最低限の支出に抑え利用者の方へご不便をかけないよう注意しながら運営をいたしました。 次年度は、設備復旧後スムーズに運営を再開し、安心して使っていただけるよう衛生管理等にも気を配りながら運営を行ってまいります。
所管課による所見（指摘事項など）
新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながらの開館であったが、感染症が落ち着いてきたこともあり、利用者数は前年比率では増加傾向となっている。9月からは全教室事業を再開、また時間帯の見直し等を行い利用者数の増加に努めてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症による影響や設備の故障に伴う臨時休館もあったため年間計画に対して、総利用者数、自主事業回数、利用料金収入及び自主事業収入の対計画比率は達成できていない状況です。収支計画をよく精査し収入増加となるよう努めるとともに、安定した教室運営と参加者数の増加に努めてください。